

# 目次

## 学習関連

提言 2-1	公欠制度の創設.....	1
提言 2-2	成績分布の公開と成績評価監査委員会の設置.....	2
提言 2-3	文系 400 番台と 500 番台の区別の明確化と改善.....	2
提言 2-4	生命科学基礎の授業形態改善.....	3

## 施設関連

提言 3-1	キッチンカーの誘致.....	4
提言 3-2	喫煙場所の改善.....	4
提言 3-3	トレーニングルームの時間外利用.....	4
提言 3-4	礼拝所の確保.....	4
提言 3-5	食堂メニューの改訂.....	5
提言 3-6	附属図書館の空調改善.....	5

## サービス関連

提言 4-1	ペーパーレス化の推進.....	6
提言 4-2	OCW-i の改善.....	6
提言 4-3	キャンパス無線 LAN の環境改善.....	7
提言 4-4	2Q・4Q の履修変更制度の改善.....	7
提言 4-5	防災訓練の改善.....	8

## 提言 2-1 公欠制度の創設

### 提言

・学校保健安全法施行規則第 18 条 3 の定める感染症罹患のための出席停止について医師の診断書が提出された場合や、主指導教員の認める学会参加・実験のための出張によって当該授業を欠席する場合は、

1. 期末試験を除き、各クォーターにおける同一授業の不参加が通算して 2 回(週 1 回の授業の場合は 1 回)以内の場合は、欠席扱いとしない。3 回以上の欠席の場合は、授業担当教員の裁量で対応を決定する。
2. 授業に出席できなかった学生に対し、授業担当教員は自学自習が可能となる教材を提供する。
3. 期末試験を欠席する学生に対しては、追試、課題提出による評価等の修学上の配慮を行う。

### 対応策・実施方法

下記の事由で、それらを証明する書類が提出された際には、次の扱いとする。

公欠に該当する事由	必要書類
(1) インフルエンザ等の学校保健安全法施行規則（昭和 33 年 6 月 13 日文科省令第 18 号）第 18 条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	医師の診断書
(2) 忌引き（配偶者及び 2 親等以内）の場合	会葬礼状等の確認ができる書類
(3) 裁判員もしくは裁判員候補者としてまたは検察審査員もしくは補充員として任務を果たす場合	選任手続き期日の通知（呼出状）等
(4) 災害（特別警報・気象警報）等、その他学長が特に必要と認めた場合	その理由を明らかにできるもの

1. 公欠とし、欠席扱いとしない（ただし、欠席する期間が長くなり当該授業の履修がもはや難しいと授業担当教員が判断する場合には、本科目の単位を授与しない。）。この場合、当該学生は授業担当教員に当該日に使用した教材等を求め、授業担当教員は、必要に応じて、当該教材および補足資料を提供する。また、期末試験の公欠については、追試験、課題提出による評価等の学修上の配慮を行う。
2. 実験科目やグループワークを要する授業等の特殊な授業形態の場合は、前項

を原則、適用しない。

- ここに示した公欠に該当する事由 (1) ~ (4) 以外の場合にも、授業科目担当教員等の判断により、欠席扱いとしない等、特別の配慮をする場合がある。

## 提言 2-2 成績分布の公開と成績評価監査委員会の設置

### 提言

- OCW 上での成績分布の掲載

GPA の平均値と点数の分布を成績公開と同時期に OCW に掲載することを提言します。成績分布の公開により、受講者は自分の相対的な位置付けを把握し、より学習意欲が向上することが見込めます。また、OCW に掲載することで次年度以降の学生には、講義を履修登録する際の参考材料となります。

- 同一科目における成績分布に、過度な偏りがなくかを第三者が監査する制度の導入

同一科目における成績分布をもとにして公平な成績評価が行われたかどうかを監査する制度の導入を提言します。成績分布に関する判断を授業担当教員や委員会のみが行う現在のシステムでは同一科目における成績評価の不平等を是正するが困難なため、第三者が成績分布に過度な偏りがあるかどうかを監査することで、公平性が保たれた成績評価が可能になると考えられます。

### 対応策・実施方法

#### 【OCW 上での成績分布の掲載】

履修評価は絶対評価であると考えています。成績分布の公開により、相対的な物差しで履修を評価してしまうことや、安易な授業科目選択となることを危惧します。

一方で、教員側としては、シラバスに掲載した学修目標を適切に反映させた評価方法となっているかについて再度、確認することが重要であると考えています。昨年度、各学院において、カリキュラム・授業科目等に関して PDCA サイクルを実施し教育の質を向上する枠組みを構築しました。この枠組みの中で検討していきたいと思えます。

#### 【同一科目における成績分布に、過度な偏りがなくかを第三者が監査する制度の導入】

1 年次の教養科目は、既に各実施委員会において、過度な偏りがなくかを調査しています。本年度より同一科目だけでなく、すべての科目において成績に過度な偏りがなくかについても副学院長等教育会議を中心に調査し、必要があれば各学院で見直し等を検討する体制を整えています。

## 提言 2-3 文系 400 番台と 500 番台の区別の明確化と改善

### 提言

- 学修案内に文系教養科目における 400 番台と 500 番台の区分けの基準を特別に取り決めるか、400 番台と 500 番台を統合する。
- 科目選択におけるキャンパス間の不利益を軽減するために、座学を中心とした文系教養

科目については遠隔配信を実施する。

#### 対応策・実施方法

1 点目の文系教養科目における 400 番台と 500 番台の区分けの基準につきましては、すでに概ね構造化されたものがあります。しかし、学修案内にわかりやすく記載されているとはいえないので、次の方針で学修案内を改訂いたします。

1. 「教養コア学修科目」に属する、「リーダーシップ道場」、「ピアレビュー実践」、「リーダーシップアドバンス」は、履修順の設定に従い、それぞれ 400 番台、400 番台、500 番台とする。
2. 「横断科目」に属する科目は 400 番台とする。
3. 「世界を知る」に属する科目は 500 番台とする。
4. 「文系エッセンス」に属する科目のうち、概説的な内容のものは 400 番台、専門性・個別性が高い内容のものは 500 番台とする。
5. その他の集中講義や寄附講義等は、その科目の趣旨にあった番台を個別に判断する。
6. さらに、特に、上記 4 と上記 5 の科目については、番台、開講クォーター、曜日、時限、分野（人文学系、社会科学系、融合系）を分類軸とする表を作成して記載する。その際、開講言語と開講キャンパスも表示する。

2 点目の遠隔配信につきましては、教育改革初年度（2016 年度）に実施したものの、機器の設定や操作にともなう人的負担や、トラブル発生時の授業進行の妨げの影響の大きさなどから、同一科目の複数クラス開講や同分野の科目の開講に切り替えた経緯があります。当面は、全体としては、この方針で対応いたします。しかし、もちろん、大きな負担や問題が生じないと判断できる科目については遠隔配信を実施します。

#### 提言 2-4 生命科学基礎の授業形態改善

##### 提言

- ・学生に「生命科学学習の必要性」をより理解してもらえよう、現在実施されている初回のデモンストレーションを継続していただく。
- ・初回の講義で、生命科学において興味を持っている事象などについて学生に対してアンケートを実施する。  
以降の講義において、生命科学の基礎知識について講義しつつ、アンケートの回答に基づいた内容もおりませる。

##### 対応策・実施方法

- ・今年度から、初回講義時に新たな資料を用意して、理工系学生が生命科学を学ぶ重要性を説明するようにした。
- ・アンケートについては、生物学をほぼ全く学んで来なかった学生に実施することは有意義ではない。ただし、担当教員には、昨年まで以上に、生命科学の応用面での重要性を示す内容をより多く織り込んで講義を行うように依頼した。

- ・しかしながら、学生アンケートでの授業評価ではあまり改善が見られなかったもので、さらに工夫する必要がある。

### 提言3-1 キッチンカーの誘致

#### 提言

- ・学生・教職員ともに昼食の新たな選択肢となるように学外からキッチンカーを誘致する。

#### 対応策・実施方法

6月よりキッチンカーの導入をはじめました。

### 提言3-2 喫煙場所の改善

#### 提言

- ・受動喫煙のリスクを最小に抑えつつ、喫煙者に負荷をかけないために、特に上で挙げられた喫煙場所（⑤本館裏西側駐輪場脇・⑦南2号館階段下・⑬石川台1号館入口前）について、煙が拡散しないように密閉型にしたり、あるいは人通りの少ない場所に移設したりするといった処置を施すことを提言します。

#### 対応策・実施方法

受動喫煙防止対策WGを設置（副学長会議決定）し検討を進めております。東京都のアドバイザーや神奈川県健康衛生局の専門スタッフに学内の全ての喫煙所を視察していただき、得られた助言等を基に、喫煙所の削減・移設等の対策案を作成し、執行部に報告しました。

なお、喫煙所の設置工法については、喫煙ボックスの設置、パーテーションによる囲い込みにより、たばこ煙が喫煙所から周辺（横）に流れ出さない方策を検討しております。

この対策案の中には、提言に記載のあった喫煙所もすべて含まれており、予算措置を受けながら、対応可能なものから順次対策を実施していきたいと考えております。

### 提言3-3 トレーニングルームの時間外利用

#### 提言

- ・トレーニングルーム利用について、時間外は有料化して利用できるようにすることを提言します。

#### 対応策・実施方法

現在、トレーニングルームに掛ける予算も年々減少しており、トレーニング機器の老朽化に対しても、機器の更新がままならない状況です。大学としては、時間外営業のこともより、優先して取り組むべき課題だと思われまますので、時間外営業については、今後の課題とさせていただきます。

### 提言3-4 礼拝所の確保

## 提言

- ・学内に礼拝所を設置することを提言します。

## 対応策・実施方法

日本国憲法は信教の自由を保障しており、学生の皆さんの信仰上の活動は他の学生に迷惑をかけない限り、自由に行って差し支えません。ただし、日本の国立大学は特定の宗教と結びついた活動や特定の宗教を支援することは法律で禁止されていますので、ご理解いただきたい。

今後、他の大学の状況も調べて皆さんが不便なく生活できるようにする方法があるか検討していきたい。

## 提言 3-5 食堂メニューの改訂

### 提言

- ・ハラルメニューや Vegan 料理をキッチンカーによる弁当販売で対応することを提言します。
- ・ハラルメニューについては、今後ムスリムの学生と相談し、新メニューの検討することを提言します。

### 対応策・実施方法

- ・現在ハラルメニューは、第2食堂にて、常時2種類 カレー1、主菜1（日替わり）を出食しています。その他にも豚&アルコールを使用していないメニューとして常時5種類程度提供し、ご利用をいただいています。

新メニューの件ですが、6/26 にムスリムの学生さんと懇談を行い、ハラルメニューの掲示方法や、考え方の交流を行いました。その中で、試食会を実施し、お弁当の取扱いにて進めて行くことを確認致しました。

## 提言 3-6 附属図書館の空調改善

### 提言

- ・館内の空調を適切な温度設定にしようとしてもどうしても場所による寒暖差が出てしまう問題があり、体感温度の個人差が原因であると考えられます。これを解決するために「ブランケットの貸し出し」を提言いたします。

### 対応策・実施方法

「ブランケットの貸し出し」について、検討いたしましたが、以下の理由により、実施を見送らせて頂きます。

#### 1) 体感温度の個人差

ご指摘のとおり、体感温度には個人差があります。また、場所による温度差もありますので、まずはお一人お一人が快適に過ごせる場所をいくつか館内で探して頂けませんか。

また、ブランケットについても必要な方はご自身でお持ち下さるようお願いいたします。

## 2)衛生管理面

ブランケットの貸し出しを行う場合、ブランケットを不特定多数の方が共有することにより、感染症の他、トコジラミやダニ等、害虫被害も懸念されます。快適な学習環境を提供するためには、ブランケットのクリーニングを定期的に行う必要があると考えられます。

## 3)管理コスト

ブランケットの購入および定期的なクリーニングには相応の経費が必要となります。新たに経費をねん出するためには、他の経費を削減する必要があります。

提言書では「団扇の貸し出し」と「観葉植物の増設」についても提言いただきましたが、継続的な費用の確保、観葉植物を置くのに適したスペースが見当たらないことから実施を見送らせて頂きます。

また提言書にあります空調が弱すぎる（暑い）ことへの対策として、新たに省エネルギー推進部門と相談のうえ、今年の夏季は2階3階の空調の運転開始を開館時間よりも1時間ほど早める対応を行うとともに、一定量のCO<sub>2</sub>を感知して自動で換気を行う設備を新たに設置しましたことをお知らせします。

## 提言4-1 ペーパーレス化の推進

### 提言

- ・様式8号・成績証明書・卒業証書・勤務報告書の4つの書類についてペーパーレス化を提言します。

### 対応策・実施方法

#### <教務課回答>

履修様式第8号について、教務Webシステム上で手続きが完了できるように、改修する方向で検討を進めます。

また、デジタル証明書化が世界で主流になっていないことから、動向を見て、検討する予定です。

#### <労務室回答>

2019年4月からの働き方改革を受け、勤務報告や休暇取得の手続きをWEB上で行えるシステムの導入を検討している。まずは教職員を対象とするが、将来的には学生も使用できる拡張性のあるものを要件とする方針である。

## 提言4-2 O C W - i の改善

### 提言

- ・期限を過ぎた未提出課題に非表示機能を追加する。
- ・OCW-i からダウンロードできる講義資料のデフォルトのファイル名設定を、「講義日\_講義名」にする。

#### 対応策・実施方法

- ・期限を過ぎた未提出課題に対する非表示機能について、改修済みです。
- ・OCW-i からダウンロードできる講義資料について、任意のファイル名で保存できるように改修済みです。

### 提言 4-3 キャンパス無線 LAN の環境改善

#### 提言

- ・自動ログインを導入し、定期的に利用規約・注意勧告のページを表示するようにする。
- ・電磁波を出す装置を調べ、電磁波を遮断するためのシールドを設置する。

#### 対応策・実施方法

- ・自動ログインに相当する認証方式の導入については、システム更新後に実現方法の検討を計画している。
- ・電磁波を飛ばす装置の設置場所・必要性については、研究・実験への影響を無線 LAN 設置側では検討できません。

また、装置の移動・増設を考慮した、すべての場所における遮断の検討は現実的でないため、電磁波発生を伴う装置を設置した組織、無線 LAN がつながりにくい利用場所管理組織が担当すべきと考えます。

講義室担当組織とは次期システムの実現についてミーティングを行う予定ですので、その旨お伝えします。

### 提言 4-4 2Q・4Q の履修変更制度の改善

#### 提言

- ・追加申告を考えている学生にも OCW-i から講義資料を配布するために「仮登録」システムを導入し、元々受講している学生と同じ環境で学習出来るようにすることを提言します。また、「更新」システムの導入を提言します。

#### 対応策・実施方法

2Q, 4Q で授業科目の講義内容を事前に OCW-i で確認できる仕組みとして、追加申告時にそのまま追加申告を完了するか、又は、一時保存とするかを選択できるようにします。

一時保存とした場合、追加申告の手続きは未完了の状態となりますが、1Q, 3Q と同様に OCW-i で当該授業科目の資料等を参照できるようにすることで、授業科目の内容を確認した上で、登録ができるようになります。

なお、一時保存の状態を追加申告が教務 Web システムで自動承認される期間が過ぎた場合は、その追加申告は紙面による追加申告に移行し「未申請」の状態となります。

ご提案いただきました「更新」についてですが、2Q、4Qの授業科目について当初の履修計画を随時修正する方法としては、個別に授業科目の「追加申告」「申告取消」ができる方が、分かりやすいと考えております。

例えば、前述の追加申告の一時保存で内容を確認してから履修を希望する授業科目もあれば、既に履修することが決定しており、すぐに追加申告を完了させたい科目もあるかと思えます。

「更新」のようにまとめて反映する仕組みより、「追加申告」「申告取消」の機能で個別に修正する手続きの方が、さまざまな状況に対応しやすいと考えております。

また、「更新」を実装したとしても、「更新」手続き後に「追加申告」「申告取消」を希望する場合は、個別に授業科目を修正する手続きになるかと思えます。手続きの簡略化という観点からも、当初から「追加申告」「申告取消」により修正する方法がよろしいかと思えます。

#### 提言 4-5 防災訓練の改善

##### 提言

- ・防災訓練当日授業を受け持つ教員には、受講している学士課程学生の引率を優先する。各研究室では教員が不在の時を想定し、自主的に避難できるよう引率者をあらかじめ、決めておくことを義務付ける。
- ・日ごろから各自の安全管理を喚起する情報を流す。
- ・防災訓練後に各自が行動を振り返ることができるフィードバックシートを作成・配布する。
- ・現在連携をとっている地域の消防署と協力し、学生に有事の際の行動について考える機会を設ける。特に学士課程学生にとって避難訓練と合わせた自分の身の安全を考える機会を提供することは重要と考えます。

##### 対応策・実施方法

- ・授業を受け持つ教員へは、具体例をあげ、文面の見直しをしたうえで、的確な時期に複数回の依頼を予定しています。なお、学生の皆さまには、入学時に配布済みの大地震対応マニュアルを活用して防災訓練に参加頂きたいと思えます。
- ・必要な情報は、一斉メールやHPへの掲示で注意喚起を行なっているので、ご覧ください。
- ・今後の防災訓練実施にあたって参考にさせていただきます。
- ・ 1. 火災を起こさないために、危険な実例をあげて講習会を行いました。また、火災がおこった場合の対処方法の説明と消火器を使つての消火訓練を行いました。(9/18 工大祭前講習会)
- ・ 2. 火災が発生した際の非常時の通報や行動をミニテスト的に行うことを計画しています(3月頃サークル点検)。